

尼崎市長あて

## 尼崎市市民提案制度 実施結果報告書

尼崎市市民提案制度実施要綱に基づき、次のとおり報告します。

### 1 提案概要

団体名及び 代表者氏名	尼崎市国際交流協会 会長 太田垣巨世
事業名	ワッネス♡尼崎
事業所管課	ダイバーシティ推進課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>やさしい日本語講座（令和3年12月9日 サンシビック大会議室） 市内の接客を伴う事業主を対象に、外国人に分かりやすい日本語のコツをレクチャーし、外国人対応に役立ててもらおう。</li><li>商店街街歩きツアー（令和3年12月12日 尼崎市えびす神社・三和商店街） 市内の在住外国人を対象に、日本が誇る食品サンプルの製作体験や、商店街散策を楽しんでもらい、尼崎の商店街や下町文化に興味を持ってもらう。</li><li>ワールドスイーツフェスティバル（令和4年1月16日 中央北生涯学習プラザ 大ホール） 市内在住の外国人にお国自慢のスイーツを提供してもらい、それらを食しながら、その説明や国の文化・歴史にまつわる話をしてもらい、日本人参加者の在住外国人に対する理解を深める。（コロナのため食事中止。座学のみ）</li><li>味噌づくり体験（令和4年3月12日予定 中央北生涯学習プラザ 調理室） 日本人を対象とした味噌作り体験講座に、市内在住の食材研究科のアメリカ人が参加し味噌作りを学ぶとともに、彼が考案した味噌ベースのソースを使って皆と一緒にピザを作り、双方の文化を学び合う。</li></ul>

### 2 事業評価

#### (1) 協働側面の評価

##### 実施手順

- 下表について、相互に自己採点する。評価基準は次のとおりとする  
A（よくできた）、B（まあまあできた）、C（あまりできなかった）、D（まったくできなかった）
- 結果を共有し、差異がみられる項目を中心に、原因や改善策等について意見交換を行う
- 協議内容は「3総合評価」に記載する
- 結果を共有する際は、衝突を恐れず、互いを尊重しながら、率直な意見交換を行うこと。

項目	団体等	所管課
1 事業計画（準備）段階		
(1) 課題や目標について共有し、理解し合うことができたか	A	A
(2) 相手の立場や組織、ルール等を共有し、理解し合うことができたか	A	A
(3) それぞれの強み弱みを理解し、補い合いながら計画を立てられたか	B	B
2 事業実施段階		
(1) 率直な意見交換を行い、理解し合いながら、対等な立場で実施できたか	A	A

(2) 予定外のことについて、協力して対応することができたか	A	A
(3) 役割分担にとらわれて任せっきりにすることなく、主体的に関われたか	A	B
(4) 実施中に目標や進捗を共有し、改善しながら進めることができたか	B	B
その他（契約締結後にあらかじめ任意で設定する項目、項目数は不問）		
(1) コロナ禍において手法が制限される中、工夫して開催したか	A	A

## (2) 事業効果の評価

## 実施手順

- ・事業実施前を目途に、協議・合意の上、一つ以上設定する
- ・事業の効果が客観的に測れるよう、受益者の評価など、アウトカム指標を原則とする

	項目	内容
1	評価指標	参加者の感想（互いの国の文化や考え方を理解し、共に暮らしていこうと思えるようになったか。）
	測定方法	聞き取り
	結果	別紙参照（感想）

## 3 総合評価

<b>協働側面の評価</b>
当イベントの企画に関する協議、会場の予約、会場所管局との調整、当日の人員提供など、様々な面で支援してもらった。
<b>事業効果の評価</b>
参加者の感想から、在住外国人側は、自分たちが住んでいる尼崎のことをより深く知ることができたり、日本人市民との交流ができたこと、また、日本人市民側は、在住外国人と接し方を学んだり、実際に接したりして彼らに対する理解が深まったことが分かる。
<b>総評</b>
人と人の交流を図るための事業であるが故に、イベントの実施がコロナに翻弄され大変であった。そのような中でも、参加者全員から肯定的な意見をもらったのは良かった。近頃よくあるオンラインによる交流では得られない交流の親密さが見られた。

## 4 収支結果（協働事業のみ）

収入の部				
科目	積算金額（単位：円）			内容及び算出根拠
	予算額	決算額		
市補助金	228,000	167,255		市民提案制度
自主財源	0	29,038		
収入合計	228,000	196,293		
支出の部				
科目	積算金額（単位：円）			内容及び算出根拠
	予算額	決算額		
		計	うち市補助金	
報償費	72,000	30,000	30,000	
人件費	0	45,000	33,451	
需用費	96,000	67,288	49,799	
使用料	0	5,000	5,000	
印刷製本費	60,000	41,825	41,825	
交通費	0	7,180	7,180	
支出合計	228,000	196,293	167,255	補助額に対する人件費割合： 20%（委託事業は記入不要）

※支出したことがわかる資料（領収書等）を添付してください

※受益者負担のある収入については、根拠を明記するか、資料を添付してください

※予算額を当初から変更した場合は、変更後の金額を記載してください

※人件費を支出した場合は、次の事項に留意してください

- (1) 算出根拠を明記する（原則として、「時間あたりの金額（任意）×時間数」で算出する
- (2) 時間あたりの金額は、最低賃金以上の額で、一般に許容される程度の額を上限とする
- (3) 時間数は、この事業の実施に要する分に限る
- (4) 人件費は、原則として補助額の2割以内の額とする
- (5) 上記(4)について、決算時点で次の条件を満たす場合は、この限りではない
  - ア 予定している実施内容と同等以上に実施量があると認められ、かつ、
  - イ 人件費を除く経費が当初（あるいは変更後）の予算未満であるとき

• この報告書は、事業所管課から、企画管理課を通じて制度所管課に提出すること

## 2021年12月9日、12日開催 やさしい日本語及び商店街歩き 感想

### やさしい日本語参加者（3人）

- ・外国人＝英語と思っていたので、今回の講習「やさしい日本語」は目から鱗であった。
- ・普段何気なく使っている日本語が、ちょっとしたことで外国人に伝わりやすくなったりそうでなかったりすることを知った。以後、外国人相手に話をする機会があれば気をつけようと思った。
- ・大阪弁が外国人にとって難しいと聞いてびっくりした。これについてはなかなか修正するのが難しいと思った。
- ・言葉だけでなく、絵やイラストも駆使して意思疎通を図る重要性を知ったので、店で作るパンフに反映させようと思った。

### 商店街歩き参加者（中国、ベトナム、オーストラリア 10人）

- ・普段はスーパーで買い物をしているが、こういった地元情緒あふれる場所での買い物も、とても楽しいと思った。
- ・これまで、こういう商店街が尼崎にあることを知らなかったなので、とても新鮮だ。
- ・スーパーと違って、店の人とコミュニケーションを取りながらの買い物になるので、難しさは感じるが、せっかく自分の家の近くにあるのだから、これからはトライしてみようと思った。

## 2022年1月16日開催 ワールドスイーツフェスティバル 感想

### アメリカ人 Ryan

幼少期の多感な時期をスイスで過ごしたため、アメリカで生まれてアメリカ国籍を持っていても、自分の心は、母国でどこか異邦人的なものを感じていた。それ故、世界の様々な国々を旅しながら、どこか異国の地で自分の心の故郷のようなものが見つかるのではないかと感じながら過ごしている時、出会った女性がたまたま日本人で、彼女と結婚して今こうして日本にいる。母国を異国に感じてしまう自分にとって、ここ日本が心の故郷になりうるのではないかと考えている。今回のイベントを通じて、自分のバックグラウンドをシェアすることができたのは本当にありがたかった。今後はもっと日本語を勉強して、より多くの人と深くつながっていきたいと思う。コミュニケーションを図る上で、現代ではインターネットなどの様々なツールを使うことはできるが、やはりこうして直に出会って、連絡先を交換するなどして親しくなれることは、何事にも代えがたい。次回、もしこのような機会がまたあるなら、今度は私の母国アメリカのミネソタ州についてお話してみたい。

### ベトナム人 Bich

主人がIT技術者で日本に働きに行くことになったので、一緒に来日した。ここ日本で初めての出産も経験した。日本語が下手なので、いろいろ困っていたが、インターネットを駆使しながらなんとか乗りきってきた。(出産で看護師から掛けられる言葉を事前に勉強した。「いきんで!!」「力を抜いて!」などの言葉をあらかじめ動画等で確認した。) また少しずつではあるが、友達ができてきた。日本に住む外国人の内、昨今ベトナム人が大変多くなってきているので、他の国の人より友達を作ったり助け合ったりするのが楽なのではないかと思う。日本人の友達もでき、多くの日本人が親切にしてくれているので、初めて日本に来た時よりずいぶんと楽になった。一度主人の仕事の関係で、東京に引っ越すことも考えた時期があったが、これまで尼崎で苦勞して親しくなった友人やコミュニティと離れるなら、少々給料が安い仕事でもいいから、ここにいたいと主人を説得した。これから息子が小学校へ行くようになったら、学校の先生や他の日本人の保護者の方々とコミュニケーションを図ることが重要になってくると思うので、もっと日本語を勉強しなくてはならないと思っている。今日は母国ベトナムのことを皆さんにシェアできて本当にうれしかった。このような場を設けてくれてありがとう。ただ緊張したのと無理して日本語でスピーチしようと頑張っ、大事なことをたくさん話し忘れ、ベトナムのすばらしさを伝えきれなかったもので、再度こういう機会があればトライさせてほしい。

### インド人 Rasika

主人が三菱電機の技術者で、日本の新幹線の技術を学ぶために来日した。当初2年間の予定であったが、コロナの関係で在留期間の延長が続き、インドに帰れていないが、5歳の息子が通う幼稚園でもすごく良くしてもらって、私は帰れなくてラッキーだと思っている。主人は会社に行って同僚と日常的に接しているが、自分は、日本語ができないこともあって家にこもりがちであり、更にコロナが追い打ちをかけ、家で孤独を感じる日が多かった。そんな中で、これまで自分の母国の文化や慣習について深く考えたことがなかったが、そういったことが自分を支えているのだということを痛感した。それで今回のイベントは改めてそれらを振り返る良い機会になったし、その思いを地元の日本人の皆さんと共有できたことは非常

にありがたいと思っている。しかしインドの文化や思想の多様性を説明するには10分や15分では全く時間が足りなかったのも、もし次にそのような機会がいただけるなら、もう少しゆっくりお話しできたらと思う。

#### 中国人 陳寧寧

私は日本人の夫とともに来日して、15年になる。ネットなどが発達していなかった来日当初は今と違って同胞の友人を見つけるのが難しく、日本での生活に困っても相談する相手もいなかったため、激しい孤独感にさいなまれていた。それ故、子どもたちが幼稚園や小学校に入ってから、中国人らしき人物を見つけたら積極的に友達になり、中国人コミュニティを広げて、後から来日した中国人の助けになろうと努力してきた。長い年月の間に日本語も勉強して上手になり（特に大阪弁が難しかった）、日本人の親しい友達もできて、日本での生活がどんどん快適になってきた。あとは子どもたちが自分のルーツである中国の文化、歴史、言語に親しんで欲しいので、家ではできるだけ中国語で話しかけているが、それだけでは理解はできても話せないのも、オンラインで中国語を勉強させている。長女は中国語の勉強に取り組んでくれているが、長男は嫌がっており、それが少し悲しいと思っている。今回紹介した月餅は日本人の皆さんにも馴染みがあるお菓子だと思うが、日本で売られている月餅は中国のそれとは違い、中国の地域によって様々な具材が使われていることが説明できたのと、日本の月見団子のように行事食であることをお話できてうれしく思っている。

#### ガーナ人 Ophelia

4年前、主人と結婚して来日した。今も上手ではないが、来日当初は全く日本語が分からず、また日本の文化にも馴染めず、とてもつらかった。特に第一子を尼崎の県立病院で出産した際には、症状の説明が分からない、病院食が口に合わない、看護師と会話できないなどで本当につらかった。その後子どもの予防接種や健康診断で出会った日本人で助けてくれる人が現れ、少しだけ生活の不安が取り除かれた。第2子を妊娠した際は、あの悪夢が再びくるのかと思うと絶望的な気持ちになったが、知り合った日本人のサポートで第一子とは比べ物にならないくらい快適に出産することができた。初めの頃は早く国に帰りたいとばかり思っていたが、愛する主人の支えや日本人の友達の助けでなんとかここまでやってこられた。また教育に関していうと、日本では子どもに責任感を学ばせる機会があって、ガーナの教育より優れていると感じているので、子どもたちには日本の教育を受けさせたいと思っている。アフリカというと、キリンや象などがいるサバンナを連想する日本人が多いが、首都や大きな街では高層ビルが立ち並び、逆に大型動物を見ることは難しい。アフリカの中でいち早くヨーロッパの植民地から独立したガーナの文化、歴史をお話できる機会を設けてもらい、本当に感謝している。

#### 日本人 A

今回は様々な国のスイーツ、文化などについて、その国の方々と直接お話を聞いて本当に楽しかった。自分は前からこういうことに興味があって、外国の方々と知り合いたいと思っていたが、なかなかそういった機会を見つけられずにいたところ、今回のイベントのチラシを母が見つけてきてくれてすぐに申し込んだ。また最後にこうして一対一でゲストスピーカーの方々とお話をできて知り合いになれたので、本当にうれしく思っている。またこういったイベントがあれば是非参加したい。

#### 日本人 B

A の友人。A 同様国際交流に興味を持っている。いろんな書物やインターネットで外国のことを見聞きできる時代ではあるが、実際にその国に住んでいた方々から直接お話を聞くのは、とても刺激的であった。世界には多くの国や都市がある中で、なぜ尼崎を選んでくれたのか教えていただけないか。

→配偶者が日本人だから

→配偶者がそこに住んでいたから。そこに住むというから。

→どこへ行くのも尼崎は便利な街だから。

→尼崎は大阪に近いのに家賃が安いから。

#### 日本人 C

去年の 10 月に尼崎に引っ越してきた。外国人はおろか、日本人の知り合いすらあまりいない状況で、こうして尼崎に住む外国人の方々と知り合えたのはとても嬉しい。自分は英語を勉強しており、国際交流的なことに興味を持っていた。今日のお話を聞いて、皆さんが日本語学習で悩んでおられるのを知ったので、自分も何か日本語を教えるボランティアみたいなことができないかと思った。

#### 日本人 D

C とともに去年の 10 月に尼崎に越してきた。この地には、なんの地縁もないが、こうして尼崎に住む外国人の皆さんや、自分たちと同様に国際交流に興味を持つ人々と知り合えて、単なるニューカマーではなく、自分の街として愛着が湧いてきた。今日のイベントはとても楽しかった。

#### 備考

ゲストスピーカー 5 人

当日参加者 14 人 (7 人欠席)

最後の交流会に残った参加者 4 人

通訳 3 人